



芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/gikaijimu/gikai.html>

市議会と市民との意見交換会 テーマ：市総合庁舎の整備について



2月18日(火)、総合福祉センターふれあいホールで「市議会と市民との意見交換会」を開催し、市が建替えを前提に計画を進めている市総合庁舎の整備について、参加された市民からたくさんのご意見をいただきました。
(詳細は2ページに掲載)



議長 動静

芦別市議会議員 田森 良隆

2月7日、東京都で開催された全国自治体病院協議会及び自治体病院共済会共催の地方議員セミナー「地域の医療を守るために」に出席しました。

講演の中で、講師である伊関友伸城西大学教授は、昨年9月に厚生労働省が全国の診療実績の少ない公立・公的424病院について、特に再編統合の議論が必要とする分析をまとめ、病院名を公表したことについて触れ、「これは決定ではなく、自治体病院の設置というのは地方自治の問題で、自治体が決定するべきこと。だから、最後の砦は地方議会議員の皆さんであり、その期待が大きい。」と述べられておりました。

病院名が公表された424病院の中には、市立芦別病院も含まれており、今年1月には、医療、福祉及び介護に精通する委員で構成する「市立芦別病院のあり方検討委員会」から答申がなされ、その答申等を踏まえ、市は今後一層の経営改善に努め、引き続き市立芦別病院の存続を図ってまいりたい旨表明をしています。

言われるまでもなく、私共市議会は、市民の命と健康を守る最後の砦は、この地元に存立する市立芦別病院がその使命を担うであろうことを再認識し、市立芦別病院の最善のあり方について、今後も丁寧に議論を尽くしてまいりたいとの思いを、一層強くいたしているところであります。

内容	市議会と市民との意見交換会……………	2
内	◎3月定例会代表質問・一般質問……………	3〜7
な	◎議会の動き・6月定例会市議会のお知らせ……………	7
主	◎3月定例会の議決結果……………	8

市議会と市民との意見交換会

芦別市議会では、2月18日に「市議会と市民との意見交換会」と題して市総合庁舎整備に関する意見交換会を実施いたしました。ご参加いただいた皆様に感謝を申し上げますと共に多くのご意見を頂きましたことに議員一同よりお礼申し上げます。

この度の意見交換会につきまして担当する議会改革特別委員会では、一人でも多くの市民からのご意見をお寄せいただけるよう、また気軽に発言できるよう少人数のテーブル毎の班に分かれ、各班のテーブルに議員を配置してのワークショップ方式による意見交換会といたしました。

市は地域ごとに「まちづくり懇談会」をすでに実施していたこともあり、懇談会での内容等も含め、より市民の皆様からの質問やご意見をいただけるよう、今回は議員が聞き役となり、意見をまとめさせていただきましました。いただいたご意見は以下のとおりであります。(抜粋し掲載)

- ・進め方が拙速で市民不在での計画になっっているように感じる
- ・建替えは良いが場所ありきの決めに問題がある
- ・コンサルを入れるとRC造りが多い。芦別は林業学校の誘致に対して市民のまとまりが感じられたので、木へのこだわりをもった庁舎を考えないのか。



- ・3階をやめたらエレベーターも不要となりコストダウンでは
- ・総合福祉センター・市民会館など、周囲の建物の建替えを含めた計画にすべきだ
- ・使用頻度の低い議場は他の活用方法も検討すべきだ
- ・現庁舎もあまり使わないので、使い勝手の悪さが実感できない
- ・将来的に職員数も減るので、新庁舎は手狭なくらいコンパクトに
- ・他のまちでは木材を活かした庁舎を建設している所もあるが、芦別市には林業学校もあるので芦別市の森林資源を活用しないのか 等々。

意見交換会に出席いただきました市民の皆様からお寄せいただきましたご意見を、議会としてまずは率直に、今後の「市総合庁舎整備事業基本計画」策定に向けて反映させるべく、3月17日に市長に対し、市民意見のすべてをもって要請したところであります。定例会最終日の3月19日には、意見交換会において市民の皆様からいただいたご意見を踏まえ、今後議会として議論を進めるための「新総合庁舎整備特別委員会」の設置を決めたところであり、限られた期間となりますが、議会としての議論を進めてまいります。



市総合庁舎の整備に関し特別委員会を設置

この度市議会では、市が建替えを前提に計画を進めている市総合庁舎の整備に関し、重要かつ緊急な問題として調査・審議を行う必要があることから、「新総合庁舎整備特別委員会」を設置し、議会閉会中も引き続き調査・審議を行うことといたしました。



3月定例会 代表質問

政風会



大鎌 光純 議員

合宿の里事業の推進について

質問 スポーツ合宿の今年度の誘致活動の状況と今後の目標や課題について伺う。

答弁 本市スポーツ合宿は、リピート率が8割を超え、常連団体の割合が非常に高いことが大きな特徴であることから、リピーターである合宿団体へのダイレクトメールの送付等による継続利用を図っているとともに、本市の公式ホームページや北海道及び国土交通省などのホームページにおいて合宿情報発信しているほか、スポーツ紙面におけるPR広告の掲載に加えて、人脈を通じた誘致活動を行ってきたところとあります。全日本女子バレーボールチームの芦別合宿復活に向けては、日本バレーボール協会会長に直接面

談し、要請を行ったほか、JTサンダース広島合宿復活に向けては、Vリーグ開幕直前の激励会やVリーグ公式戦に訪問し、チーム関係者に要請行動を行っているところです。

また、商工会議所、観光協会、料飲店組合などの関係団体が加入している芦別市合宿の里推進協議会との連携を密にして、様々なご意見をいただきながら合宿誘致活動を行い、地域経済の波及効果を高める取り組みを進めてまいります。

庁舎整備について

質問 庁舎整備の進め方や事業費35億円についての不安への解消策について伺う。

答弁 現在の市総合庁舎は、設備の老朽化や、国の定める耐震基準を満たしていないため、整備にあたっては、耐震化をする方法や他の公共施設の利用についても検討を行い、建替えが最良であると判断したところです。市議会主催の市民との意見交換会の中で出された進め方が拙速であるとのご意見を真摯に受け止めさせていただくところとありますが、庁舎の建替えにあたりましては、現在、全体経費の2割

3月定例会市議会では、代表質問、一般質問が行われました。それぞれ要旨を掲載しています。なお、会議録は図書館、市内各コミュニティセンターで閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

程度が交付税により措置される有利な財政支援制度である「市町村役場機能緊急保全事業」があり、この制度は、当初、平成29年度から令和2年度末までに建替えを完了する場合に支援の対象とされていたものが、

全国市長会、全国市議会議長会などを通じて、多くの自治体から制度の延長要望があったことを受け、令和2年度末までに実施設計に着手した場合、対象となることに条件が緩和され、さらなる制度の延長や新たな制度の創設は期待できる状況ではないことから、同制度を活用することが、市民の利益につながるものと判断し、同制度の期間内に実施設計着手に努力しようとするものであります。また、市総合庁舎建設基本構想素案でお示しした庁舎面積や職員数につきましても、「将来展望に立つべき」とのまちづくり懇談会などの意見を踏まえ、既存の福祉センター

教育行政執行方針における学校教育について

質問 小中学校配置基準の見直しにより、どのような配置を考えているのか伺う。

答弁 現在の本市の小中学校配置基準は、平成23年度に見直しを実施しているもので、小中学校の統合の基準を、小学校においては、複式学級があり、その状態が解消されない場合、中学校においては、目安として全校生徒数が20人以下の場合としています。学校教育においては、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、社会性を身に付けながら切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが重要であり、そのためには一定の規模の集団であることが必要であると考えておりますので、本市の児童生徒数の推移を見極めつつ、保護者や地域の皆さんの意見も伺いながら、配置基準の見直しについて教育委員会や総合教育会議で具体的に協議、検討してまいりたいと考えております。

新星クラブ



大橋 二郎 議員

市立芦別病院の今後のあり方について

質問

病院のあり方検討委員会より、24時間の訪問看護体制を整えるべきとのアドバイスがあったが、市の考えを伺う。

質問

24時間体制で実施する方向で協議を進めており、市内で実施している事業者とも協議し、早急に実施してまいりたいと考えております。

在宅医療サービスについて

質問

24時間体制のサポートが整った、民間の在宅医療サービスの活用についての考えを伺う。

質問

現行の緊急通報システムを、利用者負担軽減、モバイル型導入の観点からも見直しを考えており、ご提言の緊急を要しない医療に関する相談やサポートを行うサービスの導入については、その

財源措置に関することも含め、検討を進めてまいります。

合宿の里事業について

新たな合宿施設による効果について

質問

受け入れ団体・利用者の増加見込みは、40団体2640人の増加を目標としており、市内への経済効果は、約800万円を見込んでおります。

質問

合宿の里事業で最も肝要なのは、交流人口増加による市内経済への効果だと思ふ。市内関係事業者が実感できる成果となるために、利用者と市内のお店を結びつけ、市内にお金を落としてもらう仕組みを作り支援していただきたい。

市総合庁舎整備について

質問

まちづくり懇談会ではどのような意見があったか。基本構想素案に賛成の意見のほか、将来人口を考えたコンパクト化や費用の圧縮などの意見、庁舎建設より先にやることがあるのではないかなどの意見をいただきました。

質問

国の有利な財源（市町村役場機能緊急保全事業）を活用するのか。

質問

国の財政支援制度であるこの事業は、当初の期限が条件緩和され延長となり、令和2年度末（令和3年3月末）までに実施設計に着手すれば対象となることとなりました。今後の延長や新たな制度の創設は期待できないことからこの制度を活用し、市民の利益につながるよう進めてまいりたいと考えております。

質問

議会としてこの庁舎整備をテーマに市民との意見交換会を開催したが、そこで出された多くの意見は、庁舎整備に関して、市民周知のない中で建設議論が進んでいることへの不満と不安の声だった。議会に対しては昨年6月の常任委員会までは有利な財源を活用するには期間が短すぎるとの説明であったが、9月の委員会から急に令和2年度末実施設計着手（有利な財源を活用した庁舎建替え）を目指す方向へ向かい始めた。その後3回、進捗状況の報告があったが、会議録を見返しても、まちづくり懇談会が行われるに至るまで、市長からの正式な方針決定表明がないまま進められてきた。行財政改革が進められている中、庁舎整備の問題は非常に重要な問題であると考えた時、この進め方にはいささか疑義が残る。施設の老朽化や耐震化費用、さらには財源の問題など、現庁舎建替えの必要性は十分理解できるが、これまでの進め

3月定例会 一般質問

日本共産党



松井 邦男 議員

新型コロナ感染問題に関して

質問

①公共施設の休館・休止に伴う非正規職員の賃金補償②学校休校中の給食停止に伴う食料納品業者への損害補償などへの対応について伺う。

答弁

①公共各施設での雇用は、年間委託契約であり休館中の賃金は補償すべきで、不利益がないよう委託先に対応しています。②休校に伴い納品前のもはキャンセル、返品可能なものは返品をお願いしているが、今後の補償問題には国の経済対策を待って検討致します。

市総合庁舎建設構想・素案に関して

質問

総合庁舎は、市民の最大の公有財産。そのあり方はマチの将来に関わる重要問題。審議・検討過程はオープンに。市民の納得、合意のもと慎重に決定を

①昨年6月に議会に示した庁舎建設事業費35億円は、いつこのように積算したのか②この間の市民懇談会や議会の意見交換会では、市民から「庁舎建設は拙速すぎる。建てたら70年ももつ建物は、25年後の人口は5千人台を想定すべき。将来を考えて庁舎はコンパクトに」との声をどう受けとめるのか伺う。

答弁

①昨年4月市の市総合庁舎整備庁内検討準備委員会での整備方法についての検討の際、建設した幕別町や建設中の砂川市での平均単価を参考に概算事業費を試

算②素案で示した庁舎面積や職員数は、「将来の展望に立つべき」との指摘を踏まえ、空きスペースの有効活用などによるコンパクト化と事業費の圧縮に努めます。

公立学校教員への変形労働時間制の導入に関して

質問

文部科学省の勤務実態調査などによれば、小学では3割、中学では6割が月平均80時間以上(過労死ライン超え)の時間外労働の実態があると指摘。道教育委員会は、教員の多忙化は深刻だと

して、1週60時間超えの教員をゼロとするため、勤務時間実態の客観的把握は喫緊の課題として各市町村に対応を求めている。芦別での勤務時間の客観的把握について伺う。

答弁

校長や教頭の目視や機械整備記録によるもので、客観的な把握ではありません。勤務時間の改善は待たなれどあり、タイムカードなどの早期導入に努めます。



無所属



若松 市政 議員

「縮充」について、「何を縮め」ながら「何を充たして」いくのか、また「身の丈」とは何かについて

質問

予算において「何を縮め」、「何を充たして」いくのか、また「身の丈」とは何を指すのか具体的に伺う。

答弁

具体例として、新築住宅の助成廃止をしながらも中古住宅取得において子育て世帯へは20万円を加算することで子育て支援の充実を図り、星遊館をリニューアルして温泉施設の充実を図る一方で、日帰り芦別温泉を休止し維持管理を効率化すること、「芦別高校修学助成金」においては、通学費に対する補助金を全額補助から2分の1に引き下げながらも、地元中学校から芦別高校へ進学する生徒への支援策として10万円の修学奨励金を支給することなどです。

「身の丈」とは、市の財政力に応じた施策展開や行政サービスのこと

で、財政調整基金等の留保資金の取り崩しに頼らない、収支均衡型の財政構造を指すものです。

宿泊交流センターの宿泊可能人数が増えた理由について

質問

計画段階では宿泊可能人数は60人〜70人と記憶していたが、合宿人数の増加理由を伺う。

答弁

増加理由は宿泊施設の収容人数を60人〜75人と想定しておりましたが、二段ベッドの活用など、具体的な検討を行った結果、収容人数を80人程に設定いたしました。

スポーツ合宿誘致や大会規模の想定について

質問

スポーツ合宿誘致や大会規模について伺う。

答弁

ホームページやスポーツ及び人脈を活かした新たなスポーツ種目の合宿誘致、更には旭川医科大学との連携協定等を有効活用し、誘致活動を展開してまいりたいと考えております。

市立病院のあり方検討委員会からの答申への感想や具体化について

質問

市立病院のあり方検討委員会からの答申への感想や具体化について伺う。

答弁

一般病床60床、療養病床39床の計99床に削減、経

公明党



松尾 達矢 議員

営形態は地方公営企業法全部適用への移行、現診療科を維持し診療日の拡充を図る関係機関要請と増収を図る地域連携や医事部門のスタッフ確保の体制を強化いたします。中空知医療圏の再編・統合は関係自治体と協議を進め、24時間体制の訪問看護の実現に向けた体制強化を検討してまいります。

市役所庁舎の利用状況について

質問 市役所庁舎の利用に関し、まずはどういった理由で市民が市役所や公共施設を利用していいのか、その内容を把握するべきと思うが、考えを伺う。

答弁 市庁舎整備を進めるにあたり、市民500人を対象としてアンケート調査を実施し、集計作業を行っておりますので、市民の皆さんが市役所に来られる理由について、把握することはできると考えております。

今後の百年記念館のあり方について

質問 百年記念館のあり方、活用方法について伺う。

答弁 多様な来館者の学習ニーズに応えることや、文化財の保護活動が本来のあり方と考えており、今後とも、地域の特色を生かした教育普及活動のできる文化財保護の推進に努めてまいります。

いきいき百歳体操について

質問 本市で開催されている「いきいき百歳体操」は、現在どの地域で、何カ所開催されているか、何人の方が利用されているか伺う。

答弁 市内22カ所で運営されている高齢者ふれあいサロンのうち、9カ所で、1週間に1回程度の割合で開催されており、今年度実績の利用人数の合計で、月平均約720名となっております。

要望 9カ所の中に西芦別町がないので、開催できるようにお願いいたします。

サポカー実感試乗会について

質問 全国で一部ではありますが「サポカー実感試乗会」が開催されている。参加者からはサポカー補助金が出るなら自分の車に付けたいとの声も多く聞かれる。普

及が進めば、高齢者の運転事故の減少が期待できる。関係機関と連携の上「サポカー実感試乗体験」ができないものか伺う。

答弁 サポカーの普及は、高齢者の運転事故の減少につながることも、芦別市交通安全対策本部の期別運動である夏と秋の交通安全運動期間に実施する方向で、市内企業に協力をお願いしながら準備を進めてまいりたいと考えております。

奨学資金制度について

質問 「誰もが、家庭の経済状況に関係なく学べる」支援を更に推進し、後押しをしてはどうか。

答弁 ①現在、奨学金を利用している学生の人数と、卒業後の現在の返済状況について伺う。
②利用する学生に対し、給付型の奨学金制度の導入や、卒業後に芦別市の会社に就職し一定期間働くなど一定の条件の下で、市が奨学金の返済を支援するような制度を創設してはいかがか伺う。

奨学資金制度について

答弁 ①奨学金を利用している学生の人数は、3月現在では高等専門学校や専修学校の学生が14人、大学や短大生が47人の合計

で61人です。奨学金の返済については、おおむね順調に返済されています。過年度分において返済が滞っている方についても、分割により返済を受けています。

②貸付原資は、返済される奨学金であり、不足分を奨学金から繰り入れて賄っています。今後の返済額と奨学金の残額を推計しますと、数年後には奨学金の残額がなくなる状態も見込まれ、給付型や返済額の減額などの支援を行うことは困難であります。

※新総合庁舎建設について、単身者住宅の入居について、市立芦別病院の状況について質問しました。

新風会



新村 充 議員

市総合庁舎に木材を使用することについて

質問

芦別市総合庁舎建設基本構想素案には、「木を使う」というワードがひとつも入っていない。森林率約88%の本市では、

林業は基幹産業であり、林業の振興は重点課題である。北海道立北の森づくり専門学院の実習拠点に選定され、スマート林業や木質バイオマス事業を積極的に推進しているなど、林業のまち戸別を道内外にPRするには、新庁舎への木材使用は必須だ。戸別産の木材を使用することは森林資源の有効活用にもなる。木材を使用することについて考えを伺う。

答弁

林業関係団体からの要望書や新村議員からご提言がありましたので、木材の使用についてさらに検討を深めてまいります。

木質バイオマスボイラーの導入について

質問

新庁舎の熱源には木質バイオマスボイラー設備を導入いただきたい。設置の場合は環境省の補助金が活用できる。

木質バイオマスボイラー導入の考えを伺う。

答弁

国の財政支援制度や将来にわたるコスト面なども考慮しながら検討を行ってまいります。

市総合庁舎の建替えについて

質問

今回多くの市民が、情報公開のタイミング、短期間での検討委員会による素案作成と

その内容、まちづくり懇談会のあり方に疑問と不満を漏らしている。今こそ市長、議会、市民が冷静な議論を展開し、戸別ならではの庁舎の建設、後世の戸別市民に喜んでもらえる事業にしなければならぬと思うが市長の考えを伺う。

答弁

時間的な制限がある中でわれわれも精一杯向き合っています。そういったご指摘などは謙虚に受け止めてさせていただきます。

移住・定住の推進について

質問

人口が減る中で、深刻なのは労働力不足である。もっと積極的に地域おこし協力隊員を採用していく考えはあるか伺う。

事業承継に絡んだ採用や、空き家など本市が抱える問題を解決する採用起業者希望者の採用など、以前から提案させていただいているフリーミッシヨン型での採用の考えがあるかどうかも含めて伺う。

答弁

様々な分野において若年世代を中心とする人材の確保が喫緊の課題となっていることから、今後積極的に隊員を採用していく方針としてあります。すでにご提案のフリーミッシヨン型の隊員についても2名を採用することとしてあります。

議会の動き

令和2年2月上旬～4月下旬

【2月】

- 3日 議会改革特別委員会勉強会
- 〃 総務常任委員会
- 〃 社会産業常任委員会
- 7日 地方議会議員向けセミナー「地域の医療を守るために」(東京都)
- 13日 総務常任委員会
- 14日 社会産業常任委員会
- 17日 中空知広域市町村圏組合議会(滝川市)
- 〃 中空知衛生施設組合議会(滝川市)
- 18日 石狩川流域下水道組合議会(滝川市)
- 〃 空知教育センター組合議会(滝川市)
- 〃 市議会と市民との意見交換会
- 25日 後期高齢者医療広域連合議会(札幌市)
- 27日 正副議長・正副議会運営委員長会議
- 〃 議員会派代表者会議
- 〃 議会運営委員会

【3月】

- 2日 滝川地区広域消防事務組合議会(滝川市)
- 〃 議会運営委員会
- 5日～19日 第1回市議会(定例会)

- 10日 議会運営委員会
- 11日 総務常任委員会
- 12日 社会産業常任委員会
- 13日～18日 予算審査特別委員会
- 16日 議員会派代表者会議
- 〃 議会運営委員会
- 19日 議会運営委員会
- 〃 広報広聴委員会



【4月】

- 13日 総務常任委員会
- 〃 新総合庁舎整備特別委員会
- 17日 広報広聴委員会
- 23日 広報広聴委員会

6月定例市議会のお知らせ

- 会 期 6月12日(金)～22日(月)
 - 日 程 12日(金)本会議(議案の提案)、16日(火)・17日(水)本会議(一般質問)、18日(木)・19日(金)常任委員会、22日(月)本会議(議案の議決)
 - 開会時間 いずれも午前10時から
- ※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります。

3月定例会の議決結果

3月5日、令和2年第1回市議会(定例会)が招集され、会期を19日までの15日間と定め、令和2年度各会計予算、令和元年度各会計補正予算、条例改正などが審議されました。

■全員賛成の議案

事 件	件 名	結 果
元 年 度 補 正 予 算	一般会計(第9号)	原案可決
//	奨学資金特別会計(第1号)	原案可決
//	国民健康保険特別会計(第2号)	原案可決
//	下水道事業特別会計(第1号)	原案可決
//	介護保険事業特別会計(第4号)	原案可決
//	後期高齢者医療特別会計(第2号)	原案可決
//	市立芦別病院事業会計(第2号)	原案可決
//	水道事業会計(第1号)	原案可決
新 年 度 予 算	奨学資金特別会計	原案可決
//	下水道事業特別会計	原案可決
//	介護サービス事業特別会計	原案可決
//	市立芦別病院事業会計	原案可決
//	水道事業会計	原案可決
新 年 度 補 正 予 算	一般会計(第1号)	原案可決
条 例 制 定	子育て世代包括支援センター条例	原案可決
条 例 改 正	職員の服務の宣誓に関する条例	原案可決

事 件	件 名	結 果
条 例 改 正	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例	原案可決
//	国民健康保険条例	原案可決
//	養育医療の給付等に関する条例	原案可決
//	職員給与条例等の一部を改正する条例	原案可決
//	在宅福祉サービス条例	原案可決
//	国設芦別スキー場条例	原案可決
人 事 案 件	公平委員会委員の選任 (被選任者：荒木英理氏)	同 意
そ の 他	元年度一般会計補正予算(第8号)の専決処分	承 認
//	元年度介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分	承 認
//	特別委員会の設置について	原案可決
報 告 案 件	監査結果	報 告 済
決 議	「民族共生の未来を切り開く」決議	原案可決
意 見 書	国民健康保険の交付金減額(ペナルティ導入)に反対する意見書	原案可決
//	公立学校教員に「1年単位で変形労働時間制」を適用しないことを求める意見書	原案可決
//	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	原案可決
//	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	原案可決

■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

事 件	件 名	結 果	大 鎌 光 純	北 村 真	樋 坂 直 紀	林 伸 樹	石 川 洋 一	大 橋 二 朗	松 井 邦 男	若 松 市 政	小 川 政 憲	松 尾 達 矢	新 村 充	田 森 良 隆
元 年 度 補 正 予 算	一般会計(第10号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議
新 年 度 予 算	一般会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議
//	国民健康保険特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議
//	介護保険事業特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議
//	後期高齢者医療特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議

編集後記

2020年度、当初予算案を審議する重要な定例会において、新型コロナウイルス感染症防止対策と心理的負担に配慮して、議員全員がマスク着用の上、日程を短縮し開会致しました。傍聴を希望される市民の皆様にも感染防止のためご協力をお願い致したところであり、議会では市政執行方針と教育行政執行方針について2会派より代表質問と4名からの一般質問があり、予算審査特別委員会では、私も含め新人3名が初めての予算審査に臨み、活発な議論をさせていただきました。また先輩議員より多くを学ばせていただきましたので、今後はより一層の議論を深め多くの課題に取り組みたいと思います。感染拡大が心配される新型コロナウイルスですが、感染防止対策を十分に留意しながら、影響を被った消費経済の改善策や本号の特集ページにも掲載しております市総合庁舎整備事業について慎重に議論を重ねながら、スピード感をもって対応したいと思っております。

芦別市議会広報広聴委員会

委員長 樋坂直紀
副委員長 松尾達矢
委員 大鎌光純、林伸樹、石川洋一、松井邦男、新村充